

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院分院腎センター内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身やご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間：1990年1月1日～2020年5月31日の間に、虎の門病院分院腎センターにて関節リウマチで腎障害があり腎生検を施行された方

【研究課題名】

関節リウマチ患者の腎病変の変化を年代別に検討する

【研究の目的・背景】

《目的》

RA患者で腎生検にて確定した腎病変が年代別(1990年代, 2000年代, 2010年代)にどのように変化しているかを検討します。

《研究に至る背景》

関節リウマチ(RA)の腎障害はアミロイドーシス、IgA腎症、膜性腎炎等が報告されてきました。近年リウマチ薬の進歩に伴いRAの腎病変も変わりつつあります。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2020年7月30日 ～ 2021年3月31日

【単独／共同研究の別】

単独研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては、特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は、虎の門病院分院腎センター内科部長 澤直樹のもと2021年3月31日まで保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

診療情報：検査データ、診療記録、腎生検病理標本、CT 画像データ、薬歴

【虎の門病院分院における研究責任者】

虎の門病院分院 腎センター内科 部長 澤直樹

【利用する者の範囲】

虎の門病院分院 腎センター内科 澤直樹、乳原善文、澤村昌人

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2021年3月31日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院分院 腎センター内科 澤直樹 代表電話番号 044-877-5111